

介護付き添いサービスで行く お墓参りと里帰り

NPO法人あすも特注旅行班
リハビリ企画長 大関 純平

～介護付き旅行会社～

《対象》

車いすの方、障がいをお持ちの方、介護が必要な方など

『一人で旅行や外出に行けない方』

《特徴》

看護師や理学療法士が、旅行の企画から当日の介護まで行う

『完全オーダーメイドの旅行』



Q.何をしてくれるの？

A.その方のお体の状態に合わせた旅行

- ① 車いすでも乗れる車両や新幹線、飛行機の手配
- ② 車いすでも泊まれるホテルの手配
- ③ 車いすでも行ける観光地のご提案
- ④ お風呂やトイレ、食事の介助



「医療職だからこそできる、旅の手配や行程作り、
医療職だからこそできる、当日のお手伝い」



～介護付き添いサービスで行くお墓参りと里帰り～



《動機》

「お墓参り」「里帰り」に行きたいご高齢の方。
ずっと行きたい想いを持っている。



《実施するうえでの課題》

- ・長時間のスタッフ付き添い、タクシーの手配が必要。
安価なものではなく、利用できる方が限られる。
- ・社会的認知度が低い。



《解決》

補助金を利用することで、金銭的な負担を軽減。
気軽に外出できる。皆様に知っていただく。



～介護付き添いサービスで行くお墓参りと里帰り～

広報手段

チラシ

ウェブ

営業

ポスティング

マスメディア

結果

8月：里帰り

9月：墓参り

10月：墓参り

12月：里帰り

1月：墓参り

3月：墓参り

計6件

※10件以上の問い合わせ

チラシ

介護が必要になったら、旅に出よう。

このねね、
来るのが遅くなつて、
やっと来られたよ。

大切なあの人を連れて行きませんか？

石版師や理学療法士が付き添う、
安心・安全な完全オーダーメイド旅行。

先着10組様限定
お楽しみ賞券
8割引
福岡市内在住の特別プラン

1対2日温泉旅行 村上様 88歳・男性 認知症 ご依頼主・高齢者

- ご本人様のご感想
夫婦だけで行けなかったから連れて行ってもらって楽しかったです。
- ご依頼主様のご感想
主人が喜ぶようになってから、昔から大好きだった旅行を誘っていましたが、また二人で旅行ができてよかったです。

雄辺様 84歳・女性 認知症 ご依頼主・長女さん

- ご本人様のご感想
うれしかったです。こんな良い思い出ができました。
- ご依頼主様のご感想
病気になる前から、祖父のお墓参りに行けていました。ずっと行きたがっていたので、思いを叶えてあげることが出来て本当によかったです。

松井様 73歳・女性 認知症 ご依頼主・お孫さん

- ご本人様のご感想
お参りができて良かったです。おもしろい楽しかったです。
- ご依頼主様のご感想
なかなか、家族だけでは行けないので、このようなサービスがもっと広がればいいですね。

福岡市
中央区

“あすも特注旅行班”って何？

あすも特注旅行班とは
障害やご病気や外出を諦めている方々に、行きたい場所へいつでも行ける完全オーダーメイドのご旅行を提供しているNPO法人です。経験豊富な看護師と理学療法士が旅行や外出の企画から、当日のトイレ介助や入浴介助まで、お客様の状態に合わせて支度を万全にたすの外出・旅行サービスです。

あすも特注旅行班の名前の由来
「明日も行きたい」「明日も行けるよ」という、未来への強い思いを込めました。「ご本人様では行かれない、どこにも行けない」という現実を踏まえてしまっている方々へ、医療従事者が付き添うことで、安心を感じ、もっと行動範囲を広げていただきたい。そんな思いから、障がいがあるから、と諦めていた外出や旅行を安心して楽しんでもらいたい。そんな思いで活動しています。

代表 大橋日出男

NPO法人 あすも特注旅行班 3つの強み

- 安心**
車庫の打ち合わせには、お客様の車にも対応が出来ます。経験豊富な看護師と理学療法士が旅行計画の作成から当日の介護まで行うから安心です。
- 自由**
完全オーダーメイド旅行だから、あなたが行きたい場所へいつでも行けます。バックツアーとは自由な旅が出来ます。
- 安全**
旅行が済んだら、事前にスタッフが施設やトイレなどのバリアフリー調査を行います。万が一のための保険も事前に確保、安全な旅をお届けします。

ご旅行までの流れ

- 1 お問い合わせ 無料**
お電話もしくはメールでお問い合わせください。
- 2 事前相談**
ご自宅や病院に訪問して、お客様の状態とご希望をお伺いします。
- 3 現地調査と旅行計画の作成**
旅行のバリアフリー調査および、万が一の病院確保などを行います。調査結果を踏まえ、特注の旅行計画を作成します。
- 4 旅行計画のご提示と打ち合わせ**
お客様へご家族様へ旅行計画をご提示いたします。
- 5 さあ、行きましょう!**
出発までお迎えに上がり、行程全てにスタッフが対応いたします。

スタッフ紹介

大橋 日出男 (代表)
九大病院に15年間勤務。「もっといろんな所へ行けるんです。私たちがお供します。」

大橋 純平 (看護師)
リハビリ専門の病院に4年勤務。「僕は最高のリハビリです。一緒に旅行を楽しみましょう。」

真田 真樹子 (理学療法士)
15年間、高齢者介護に従事。「声を聴いて、ワクワクする瞬間を味わってもらえたら嬉しいです。」

**お参り、聖地巡りに行きたいあなたへ、
先着10組様限定割引**

先着10組様限定
お楽しみ賞券
8割引
ご利用いただけます。

まずはお電話ください。

NPO法人(福岡市登録) **あすも特注旅行班**

TEL ☎ (092) 980-1235
Eメール npo@asumo.fukuoka.jp
〒819-0006 福岡市中央区姪貝南地2丁目26-10-506号
ホームページ http://asumo.fukuoka.jp/

西日本新聞(2014.9.15掲載)



看護師などのサポートで福岡市から北九州市に日帰りを訪れ、墓参りする利用者たち
＝今年4月（NPO法人提供）

介護必要でも 安心の旅提供

福岡市 NPO法人が支援サービス

車いすや点滴など、介護が必要な人も安心して旅を。福岡市西区のNPO法人「あすも特注旅行班」（大橋日出男代表）は、旅行や帰郷、墓参りをしたいお年寄りや障害者に、看護師や理学療法士などのサポートを提供するサービスを開始した。トイレや入浴の介助をアロの職員が担うことで、家族の付き添いがなくても、旅を実現するのが狙い。介護付き旅行のサービスは県内でも珍しいという。

看護師ら同行、墓参りも

病気や障害があるために旅行や墓参りなど、外出を諦める人は少なくない。市町村が利用料を補助する公的な移動支援サービスの対象は原則、障害者手帳の所

持者などに限られ、末期がんと患者や一般の高齢者などは利用できないケースが多いという。特に在宅者の場合は、日常的に介護に携わる家族の負担を減らすことにもつながることから、2013年9月、前身のボランティア団体時代に取り組みを開始。今年4月、看護師や理学療法士、介護福祉士、医師の5人でNPO法人を立ち上げ、事業化した。申し込みがあった場合は、職員が自宅や病院を訪れ、健康状態や旅程の要望などを聞き取り、事前に現地でバリアフリーの状況なども調査。当日は玄関まで

迎えに行き、看護師や理学療法士も付き添う。

利用料は原則、スタッフの交通費や宿泊費、調査費も含め、利用者側が全額を負担。通常の旅行費の3倍程度に上ることから、「どう利用者の負担を減らしていくかが、今後の課題」と大橋代表。本年度は市のNPO活動推進補助金助成事業に認められたため、市内在住の先着10組（既に1組は決定済み）に限っては、日帰りの墓参りや帰郷について、旅程の通常料金を8割引きとするキャンペーンを実施している。

大橋代表は「来年度以降も行政支援を受けられる企画を考えていきたい」と話している。同法人＝092（080）12325。

（川口安子）



《成果》

8月里帰り



80歳代、女性、要介護5
・病院に長期入院中。意識もほとんどなく、寝たきり。

9月墓参り



50歳代、女性、要介護3
・高齢者施設に入居中。脳梗塞を患い左片麻痺。

10月墓参り



80歳代、女性、要介護5
・高齢者施設に入居中。脳梗塞を患い左片麻痺。

12月里帰り



90歳代、女性、要介護4
・高齢者施設に入居中。大動脈瘤、認知症。

1月墓参り



70歳代、男性、要介護1
・高齢者施設に入居中。脳梗塞を患い左片麻痺。

3月墓参り



80歳代、女性、要介護5
・高齢者施設に入居中。脳梗塞を患い左片麻痺。



良かった点

- ▶ 費用負担が少なくなったことで、催行できたケースがあった。
- ▶ 営業先での反応が良かった。
- ▶ 新聞でも取り上げていただけするなど、認知度の向上につながった。
- ▶ チラシを作れたことで、サービス内容が伝えやすくなった。
- ▶ お墓参りをきっかけに、旅行に繋がったケースがあった。



反省点と原因分析

▶ 目標としていた、10組には到達できなかった。

①体調不良や家族・Drの受け入れなど、さまざまな要因。

②行きたいけれども二の足を踏む方が多い。

③「B to B」の営業が主で、見込み客まで届いていない。

④広告・宣伝方法の種類を増やすべきであった。
(プレスリリースをもっと積極的にかける等)

⑤病院や養護学校などへの営業が不足していた。



今後

「こんなサービスがあって、本当に助かります。もっと早く知っていれば良かった。」

求めている人に少しでも早く届けられるよう、いろいろな制度を活用しながら、発展していきたい。

